

多層膜の金属汚染分析

概要

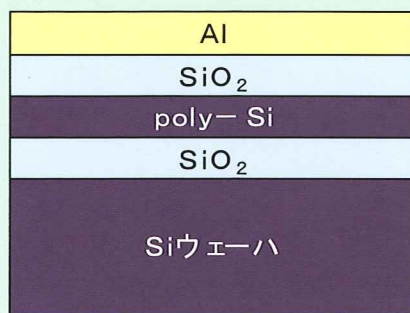
多層膜を1層ずつ溶解して、各層の金属汚染を分析する

- ・分析法：誘導結合プラズマ質量分析法（ICP-MS法）
- ・検出レベル： 5×10^8 atoms/cm²

ポイント

- ・処理液の種類・濃度を最適化し、多層膜を1層ずつ溶解する技術を開発
- ・内部標準法による高感度定量を実現

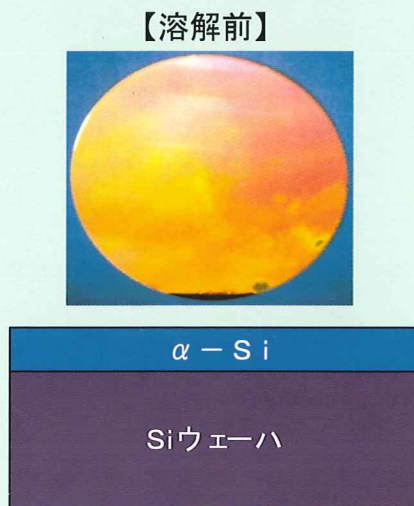
● 多層膜の分析例



- ← 処理液 A
- ← 処理液 B
- ← 処理液 C
- ← 処理液 B

- ・材料に応じた処理液を選択し、1層ずつ溶解する
- ・処理液には内部標準を添加しておく

● 処理液の開発例（α-Si膜の溶解）



一般的な処理液
(フッ酸+硝酸)



新規開発液
均一に溶解！

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎ 03-5524-3851